



第56回 単立ペンテコステ大会 (神奈川県・レクトーレ葉山)



献身の証

岐阜純福音教会牧師 小山大三

1972年4月、神奈川県横須賀市にある防衛大学に私は入学しましたが、規律に縛られることへの反発、ルームメイトや上級生との対人関係の問題、第一志望校へ入れなかったことへの挫折感、生きている意味が見出せない不安などを抱えて、入学後まもなく、心の葛藤を覚えるようになっていました。そのような時、英会話クラブに属していたことで、6月に英会話クラブに立ち寄りられたウィンロス宣教師と知り合い、二人の4年生の先輩クリスチャンを紹介され、聖書を読み始めました

同年12月23日に、私たちはウィンロス師宅に食事に招かれました。その時、ビジネスマンのクリスチャンの方が食事をしながら、どのようにしてクリスチャンになったかを話してくださいました。驚いたことに、日頃自分が疑問に思っていたことに答え始められたので、私は心の深い所で神様の存在を信じるのができると思いました。その夜、私はイエス様を救い主、また生涯の導き手として受け入れました。

翌年の1月1日から3日まで静岡県天童市で開催された新年聖会に出席し、2日目の夜に聖霊のバプテスマを受けました。聖霊のバプテスマの経験以来、毎週日曜日に教会に行くことはもちろん、毎土曜日には喫茶店での聖書の学びに参加するようになりました。私の中で、「聖書の神は本物だ。イエス様のことを宣べ伝えたい。」という強い願いが起こってきました。私は自分の生涯を懸けて働くことのできる仕事を模索していましたが、これこそ私が生涯を懸けるに値する仕事だと確信しました。1973年3月7日に防衛大学をやめ、11日にウィンロス師より三浦半島の油壺で洗礼を受けました。

関西聖書学院を紹介され、入学式前日に学校に初めて行き、当時の学監であった高橋昭市師から面接を受け、その場で必要書類をいただき提出しました。翌日の入学式には出ましたが、正規の学生として認められたのは、入学式後に開かれた理事会でのことでした。

「私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。」(ピリピ 1:21)

太田ともえ



宣教師仲間と。最後列左が太田師

「トモエ、ちょっと一緒に祈ってほしいことがあるんだけど…」今年6月初め、宣教師仲間の祈り会后、メンバーの一人であるパトリシアに呼び止められました。結婚してスウェーデンに住むお姉さんと最近電話で話したが、彼女が過去の心の傷に囚われて心閉ざし神様からも遠く離れている、一緒に祈ってほしいとのことでした。二人で涙とともに祈ったことを今でも思い出します。

パトリシアはチリ出身、かばんを作る会社「Divine Design (聖なるデザイン)」を立ち上げ、弱い立場にいる経済的にも豊かでないパキスタンの女性たちに技術を教え、仕事を与え、そのビジネスを通して福音を伝えようと励んでいました。神様も彼女とビジネスを祝福し、少しずつバッグも売れ始めたところでした。しかし、6

月中旬ごろからパトリシアは体調を崩し、短期間で症状が悪化、8月中旬に「脳腫瘍」(がん)と診断されました。宣教師仲間の協力を得て早急に飛行機をとり、がんセンターでの診断がついた次の日には飛行機に乗っていました。もう一人で旅ができる状態ではなかったため、私も一緒にチリまで行きました。

パキスタンでも予測はついていたのですが、彼女の腫瘍は大きすぎてすでに手術や治療の対象ではないとチリの医師も判断しました。つまり彼女は現在、医学的には天に召される日を待つのみなのです。彼女は言いました。「確かに私の脳には大きな問題がある。でも、私たちの本当の問題は、いつも心の中。主よ、私の心を変えて下さい！」私たちのいのちはもちろん大切ですが、それよりもっと大切なのは「キリストにある永遠のいのち」なのです。

現在、パトリシアは、家族とともに平穏なひと時をすごしているそうです。チリの外に住んでいる姉妹たちも全員集まって彼女とともにいるとのこと。私も、彼女と一緒に祈ったことを思い出しながら、全能の神様を見上げ、すべての思いを御手にゆだねる日々を送っています。



チリにてパトリシア姉と

西日本豪雨その後

昨年、7月に起きた西日本豪雨の被災地にTPKFから支援金を贈らせていただきました。被災地より1年経ったの活動報告を掲載致します。

岡山キリスト災害支援室(岡キ災)からの報告

(2019年6月ニュースレターより)

岡キ災の立ち上げから10か月がたち、「まびくら」(真備町に暮らしの温もり支援センター)での活動も6か月に入ります。多くの諸団体及び諸教会に祈り支えられていますことを感謝しています。今回は2019年2月以降の活動報告をさせていただきます。

「まびくら」での活動は、まず「居場所作り支援」に取り組んでいます。専従スタッフ(男性2名)に加えて、3月からパートスタッフ(女性1名)が加わりました。「まびくら」の看板が設置され、安心して集まっていただけるようになりました。

主な活動、2月より岩上真歩子師(心のケアミニストリー タリタ・クミ代表)による「心のセミナー」第二金曜日を毎月開催。2月23日(土)第2弾となる「まびくら」お餅つきを行い盛況。3月2日(土)くらしき

作陽大学関係者による「コントラバスターズ」コンサートを開いた。3月21日(木・祝)には福山暁の星高等学校茶道部による「復興町づくり応援お茶会」を開き、午後にはみその仮設で岡キ災主催の「新春お茶会」(仮設支援)を行った。4月からは「無料カウンセリング」も始まり、居場所作り支援が充実してきました。

4月からは公益財団法人「YMCAせとうち」との協力による子ども支援(毎週土曜日)が始まり、昨夏から真備の子どもたちとつながっているYMCAの働きはよい働きとなっています。子ども支援に諸教会の協力(聖書のお話と昼食支援)をいただき、良い連携が生まれています。仮設支援は調整中。

また毎月1回イベント企画もあり、教会の協力(参加と支援)を呼びかけています。5月は「まびくら」寄席、6月は「関学グリーンコンサート」を企画。7月13日(土)にはゲストにハンガーゼロスタッフ(伊藤綾氏、向頭要一氏)とサルーキ=&神山みさ氏を迎えて、岡キ災の活動が1年継続できたことを覚えます。引き続きのご支援ご協力をよろしくお願い致します。

岡キ災室長 草井琢弘 (岡山めぐみキリスト教会)

第56回TPKF大会メッセージ要約

大会テーマ **【INNOVATION 革新】** 講師：細井 眞師

聖会1 『イノベーター』 〈使徒11：17～18〉

「イノベーション」とは大きな転換をする、刷新をする、新しくなっていくという事。

神様こそがイノベーターであり、イノベーションを起こし御業を成し続けてくださっている。キリスト教の歴史上最も大きなイノベーションは、イエス・キリストである。今イエス・キリストを信じる信仰の故に救いを得ることができている。こんなにも大きなイノベーションはなく、こんな刷新の仕方はない。大きな恵みがそこから始まった。

ペテロの異邦人伝道も神様が備えてくださり、神様が成し遂げられたイノベーションである。私達はこれまで経験したことや習慣を変えたくないと願うものだが、神様がイノベーションされるなら「アーメン」と言って従わなければならない。神様のイノベーションに対して、一瞬沈黙してしまう時がイスラエルの民同様私達にもある。しかし異邦人への救いの道を開いてくださった神様のイノベーションをイスラエルの民が褒め称えつつ受け入れたように、私達も神様のイノベーションを受け入れていこう。神様から導きを得た時、神様が心に語っておられると受け止めたなら私達は行くべきである。神様に従い行う者はイノベーターとして神様が用いてくださるから。神様ご自身が直接行うこともできるが、神様は私達を通して御業をなそうと決められた。だから神様に従う者となろう。

聖会2 『新しいルール』 〈ヨハネ13：34～35〉

「互いに愛し合いなさい」と語られたイエス様の言葉が名詞ではなく動詞であることが重要、すなわち「愛を持ちなさい」ではなく「愛を用いなさい」ということ。

伝道するのは大切なことだが、大事なのはそこに愛があり相手の必要に本当に応えてあげているかということである。必要なのは愛することであり、愛されること。「愛すること」を行動していくが故に祝福を受けるのである。愛を持って伝えていく時に神様が豊かに働いてくださる。イエス様は「愛するように」というイノベーションを与えられた。イエス様は、互いに愛し合う姿の中に愛がありその



愛を人々は見出すと語られた。つまり「愛すること」が宣教なのである。イエス様が与えてくださった新しいルールである「愛する」という業を最優先するようにと主は私達に望んでおられる。

聖会3 『聖霊様と共に歩むということ』

〈コロサイ3：15〉

私達はキリストの体なる教会を形成しているということ意識する必要がある。すなわち、キリストの御体の一人として、一部として歩いていくことを私達の心に命じなければならない。また、神様は私達にアガペーの愛を持って愛しなさいと言われた。これは聖霊様の業であって、聖霊と共に歩む時に愛を持って行動し愛を用いていく者に変えられる。聖霊に満たされて歩むことは愛に満たされて歩むということでもある。だから聖霊に導かれ従っていく必要がある。聖霊は私達の思いの中に働き、御霊で満たして世に遣わしたいと願っておられる。だから日々御霊で満たされるようにと異言の賜物を与えられた。

また、教会を通して主は働かれているから遣わされていく所どこでも主は働かれるのである。キリストの愛を持って神の働きを押し広げていく者となろう。

聖会4 『より広く～革新される教会を目指して～』

〈使徒8：4-8〉 〈エペソ1：23〉

私達はこれまで一個人を救いへ導くことに焦点を合わせてきたが考えをさらに広げていく必要がある。

「主イエスを信じなさい、そうすればあなたもあなたの家族も救われます」これは神様の御心、一人救われたならその人を通して家族全員が救われることを神様は願っている。私達が信仰を持って伝道していくなら神様は働かれ必ず救われる。私達の背後にいる多くの人々を救いたいと神様が願っておられることを知らなければならない。そこに重荷を持って祈り始めていこう。

小さな事で神様が行ってくださったという事があると、少し大きなことについても神様が働いてくださるはずという信仰に立てる。主は今日も日本において働いてくださるのだと確信を持っていくことができるのではないかと。小さなしるしを経験するならさらに大きなしるしを必ず神様がなされると信じることができる。

主が豊かに働いてくださり、様々な所で与えてくださるチャンスを私達は生かしていく、神様はそれぞれのフィールドに遣わして私達を通して働いてください。

(要約：栄シャローム福音教会 新實千枝)

TPKF大会 ユース集会報告



TPKF大会 2日目の午後は、メイン会場にてユース集会在持たれ、各グループから合わせて約30名のユースが集まり、共に主を礼拝し、交わることができました。

ゲストスピーカーとして、神の家族主イエス・キリスト教会の伝道師であられる倉持守師をお迎えし、本大会のメインテーマでもある「イノベーション」について、ネヘミヤ記2章から「城壁の再建～礼拝刷新～」というタイトルで語られました。メッセージを通して、私たちは、それぞれが主にあってますますイノベートされ、主に自分自身を捧げていくということを教えられ、それぞれが主の思い、ビジョンを頂き、また献身の思いを新たにさせられました。

集会後は茶菓子を囲んでのフェローシップタイムを持ち、普段会うことができない友達と楽しみながら分かち合い、お互いを励まし合う時間を持つことができました。

主がこのようにして、TPKFユースを葉山の地に集め、ご自身の御心をユースに語ってくださったことを感謝します！
(町田純福音教会 廣瀬 開)

TPKF大会 キッズ集会報告

第56回大会キッズはKBI生が担当させていただき、行いました。プログラムはゲーム、ダンス有りの賛美、クラフト、メッセージと盛りだくさんでした。そしてテーマは、「イエスさまについていこう!」、どんな時もイエスさまについて行っていく簡単なことじゃないけど、従う時に神さまは必ず祝福してくださる。このことを4回の集会の中で子どもたちと学んでいきました。一緒に聖書を開き、ギデオン、ヨナ、ペテロの姿から私たちがイエスさまに従えないときはどんなときかな?と質問を投げかけると、「イエスさまより自分を大事にしているときだと思う」と素直に話してくれるお友だちがいました。子どもたちが直面している現実と向き合い、どうしたら日々の生活の中でイエスさまを優先し、愛することができるのか、またついていくことができるかをKBI生も一緒に考え、祈るときを持ちました。TPKFの未来を担っていく子どもたちとともにみこころを聞き、礼拝を捧げられたことに感謝します。

「イエスは、みなの方に言われた。『だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。』」ルカ9章23節
(横須賀クリスチャンセンター 山田愛也)



ゲーム



メッセージ

第56回TPKF大会 総括

栄シャローム福音教会 小山英児

「イノベーション」。この一語に尽きる大会だったと思います。

講師の細井先生は、まさに、神様のタイミングだと思いました。

今回は、参加した56名の教職者のうち、40代以下のNeGの教職者が22名と4割を占めました。50回大会より3世代の祝福を目指し、フェローシップの強化を推進してきました。参加人数は多くはありませんでしたが、全世代がまんべんなく出席し、TPKF全体が新たなフェーズに入った印象を受けています。皆様のお祈り、ご支援を感謝します。

昨年の福井で、TPKF規約が制定されてはじめての事務集会所も49名の参加があり、TPKFとしてのイノベーションが始まっていることを感じています。

日本のキリスト教界は今、2030年問題に直面しています。教会員の2/3が2030年には75歳以上になり、既存の教会は半減すると言われていています。実際、多くの神学校は(KBIを除いて)神学生不足に悩んでいます。若い世代の教職者の減少が問題となっています。そんな閉塞感を打ち破るのは、イノベーターである聖霊様のイノベーション以外ないと感じました。大会後、ある牧師先生が、ご自身の教会の二人の方が聖霊のバプテスマを受けられましたと証されていました。聖霊様は今も働いておられます!

来年は、日本宣教70年の記念大会となると聞いていますが、聖霊様の働きがますます前進することを主に期待しています。皆様のご協力を感謝します。

あかし

「主が良くしてくださった事」

小松ベタニヤ福音教会 田中知子



今回の葉山での単ペン大会に行けるかなあと迷っていたのですが、神様が必要を満たしてくださり参加できるようになりました。主が良くしてくださった事を思い返し、主をあがめます。

大会では、葉山の美しい景色とおいしい食事にただ喜んでいただけではありません。講師の細井先生のメッセージから、異邦人伝道のため主の御声に従ったペテロ、その結果、異邦人にも聖霊が注がれた事、これらは主のなさる御業であり、大会のテーマである刷新そのものであることを学びました。内向きに、そして、硬くなりがちな私の信仰姿勢にも刷新が必要だと思いました。

在原先生ご夫妻と久しぶりにお会いできた事、主にある兄姉と交わりが持てた事も感謝でした。さらに、賛美、祈り、語られるみことば、メッセージ、宣教報告、映画上映など盛り沢山で充電の時となり励ましを受けました。これからの日々の生活の中でも主を待ち望んでいきたいです。

単ペン大会の証

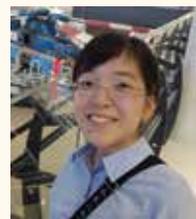
雲井キリスト福音教会 中川湖夏

去る8月の単ペン大会で、ある姉妹と私が一緒に異言の賜物を受けとることができました。感謝します。

大会2日目の夜、私がシャワーからあがると、同室の姉妹がベッドにうずくまり異言で祈っていました。彼女はその日の夜の集会で聖霊さまの満たしのために祈ってもらったところでした。私は自分のベッドに腰掛けて声を出さずに祈りました。本当は彼女の背に手を置いて一緒に祈りたかったのに、気恥ずかしさが邪魔をしてできませんでした。

彼女が顔をあげて、一緒に祈ろうと言ってくれた時も私は声を出さずに祈りました。この時自分の中で聖霊さまがうずいているのを感じました。それでも私は溢れ出しそうな言葉を人間的な思いで拒み続けました。

しかし私はついに耐えられなくなって、彼女に自分の正直な気持ちを告白し謝りました。そのまま神さまにも正直に祈ると、ぼつりぼつりと異言が出てきました。頑なな私に何度もチャンスを与えてくれたその姉妹と神さまに感謝です。



「刷新を求めて」

金沢フィラデルフィヤ教会 金木照美

自分の蒔いた種で、50年以上を苦汁の中で過ごしました。15歳の時に「ただ信ぜよ」の呼びかけでカナダからの宣教師の教会に導かれ、祈ってもらい、喜びと感謝に満たされた日々を送っていましたが、専門学校に通っていたころから社会の見方が変わり、ここから「荒野の彷徨」が始まりました。そんな中で、35年前に主の憐れみにより、今の教会に導かれ、恵みをいただくようになりました。

その後、息子と夫を送りましたが、主はすべて確實、絶妙なタイミングで働かれ、かけがえのない「自由」を与えてくださいました。しかし、日が経つにつれ、あれこれと後悔が募り、詮ないことばかり考えては打ち消していました。

そんな中、信仰の「刷新」を求めて、感謝しつつ今回の大会に参加いたしました。細井師のお奨めと、映画「祈りの力」が迫ってきました。人生の終点も近く、一日一日^{あくせく}齟齬しないで、落ち着いて主と向き合い、聖霊様に求めて祈る日々を送りたいと思います。



教会紹介

山科キリスト福音教会 所在地：京都市山科区小山南溝町7



今年はエペソ 1:23 の聖句を年間テーマとして「教会の本質と役割」について聖書から学びながら実践しています。日曜日の礼拝ではエペソ書からみことばを分かち合っています。月に一度、「ゴスペルアワー」という伝道企画を続けています。内容は様々で、「東日本大震災復興支援バザー」、「英語カフェ」、「夏祭り」など、地域の方に参加しやすい内容を企画しています。また、ママゴスペルも定期的集まっています。
(レフトサーリ サミペッカ神之助)

小松南部キリスト教会 所在地：石川県小松市矢田野町ニ 142-1

私たちの教会は小松ベタニヤ福音教会の枝教会として、1983年・石川県小松市の南部地区に会堂が建てられ伝道がスタートしました。現在大人のメンバーが23人に対して、子供が14人もいる若さ溢れる教会です。教会の高齢化が叫ばれる中、大きな恵みを頂いています。2018年6月に牧師の世代交代もなされ、新シーズンを迎えています。これまでの恵みに感謝しつつ「大事なのは新しい創造です。」(ガラテヤ6:15)の御言葉を握り、新しい主の御業に期待しています。(菅原道夫)



教会情報

- 小浜キリスト福音教会 3月31日 大宅昭子師 伝道師退職
- 雲井キリスト福音教会 4月7日 山崎琴葉姉 伝道師就任

キリスト福音教会聖書学校委員会 セミナー講義 CD を販売中!

キリスト福音教会・聖書学校委員会主催「信徒訓練セミナー」「長老・執事訓練コース」の講義 CD を販売中です。

- 長老・執事訓練コース.....2019年7月15日「ダビデの生涯に見る神の真実」講師：川瀬清文師
 - 信徒訓練セミナー.....2019年11月4日「クリスチャンが知っておくべき仏教の世界と対応」講師：宮谷泉師
- いずれも3枚組 CD 価格 1,000円 (送料共)
ご注文は綾部キリスト福音教会・朝子孝一まで。電話・ファックス (0773) 42-5359 又はEメール ko_asako@ybb.ne.jp

「TPKF70周年記念誌(仮称)」発刊のご案内

TPKFでは、70年間にわたる日本宣教と教会のために労じてくださった多くの諸先生、諸先輩のお働きを覚え、主の成してくださったみわざを感謝し、記念として後代に残すために、「TPKF70周年記念誌(仮称)」を発刊する運びとなりました。

予定価格 2,000円 (送料実費)

◎協賛広告を募集中です。詳しくはこちらをご覧ください。

第57回 TPKF 大会 2020年5月4日(月)～6日(水) TPKF 70周年記念大会 テーマ「Progress/ 前進」

講師：大田裕作師 (KBI 学院長)

会場：ピアザ淡海 滋賀県大津市におの浜 1-1-20

単立ペンテコステ教会フェローシップは2020年に70周年記念を迎えます。大きな恵みによって支えて下さった神様に、感謝をささげていきましょう。聖霊の油注ぎを頂き、私たちは未来に向かってますます前進していきます。

ぜひご参加ください!

置田 信也

単立ペンテコステ教会諸教会 (名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
 横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会
 秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
 甲府カルバリ純福音教会 / 富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
 いのちの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
 文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国町) / 武生自由キリスト教会
 グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ / 岐阜ライブチャーチ
 美濃グレイスチャーチ / 本地が原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会
 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
 甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会
 京都キリスト福音教会 / 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会
 大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべての TPKF の信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKF の公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

